



みらい通信

第51号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
連絡先 〒028-3318
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
電話 019-671-2244
FAX 019-671-2243
Email miraiken@shiwa-mirai.com
発行日 平成24年10月11日(木)

事業報告

平成の森「動物と共生する森を創ろう！」山王海ダム「親子ふれあい研修」

9月30日(日)、台風の影響か未明から雨が降ったりやんだりで開催が危ぶまれましたが、作業を始める頃には雨も上がり植樹にとって絶好の条件で上記事業が行われました。

今回は29組73名が参加し、平成の森にミズナラ・ブナの苗木を200本植樹しました。



子どもたちは重いスコップと唐鍬で穴を掘り「おおきくなってね」と大切そうに植えていきました。

植樹の後はみらい研会員の佐藤春男さんによる自然観察会を行い、熊はどんなものを食べるのかなどの質問に答えたり、森の木を見ながら歩きました。

昼食後はダムの施設見学と滝名川まで移動しヤマメやイワナの稚魚を各600匹放流。みんなで大きく育ててねと声を掛けながら川に流してあげました。参加した子供たちは「また、大きく育った木や魚を見に来たい!!」と言って帰っていきました。



使用済み“食用油”回収団体説明会を開催！

10月2日(火)オガールプラザ小スタジオにおいて、使用済み“食用油”回収団体の説明会を環境課と一緒に開催しました。紫波町では、「資源循環」と「地球温暖化防止」のために、家庭から出る使用済み植物性食用油を回収し、町内の事業所でBDF(バイオディーゼル燃料)に精製しています。精製されたBDFは、役場の公用車や個人事業所のトラックなどに利用されています。今回、説明会を開催した目的は、回収した使用済み食用油に洗剤や調味料などの不純物が混ざるケースが増えたためです。町民の善意で回収された油を無駄にしないために、回収する時に気をつけることや町民に不純物の混ざらない油を出してもらうためにどんなことをすればいいのかなどについて、皆さんの意見を伺いました。

紫波ネット2012 9月号に環境課が掲載しているような内容を何度も何度も告知していく必要があることを確認しました。また、回収場所にもBDFの取り組みを知ってもらうためのポスターやチラシを設置することにしました。会員の皆さんも使用済み食用油の回収にご協力ください。



■ 10月~11月の事業 *会員のみなさんの参加をお願いします*

10月13日(土),14日(日) 紫波町産業まつり

17日(水)18時~ 山と森倶楽部部会

20日(土)10時~ 東北銀行紫波企業の森づくり活動

21日(日)14時~ 「ワン・コイン・セミナー 稲一そば」

場所:ラ・フランス温泉館 要申し込み

24日(水)18時~ またあした倶楽部部会

11月18日(日) 9時~ 「森のあそび場りんくる“秋”」

場所:大巻大正園 要申し込み

25日(日)10時~15時 「2012 紫波食彩まつり」

場所:ラ・フランス温泉館交流プラザ 前売券10月下旬発売



~ 昨年大好評でした“紫波食彩まつり”今年も開催!スタッフ募集!! ~

会場準備・片付け、食券の販売、販売の手伝い等

当日9時~16時頃まで(うち数時間でもかまいません)お手伝いいただける方

11月15日までにみらい研事務局までご連絡ください。

部会にこだわらず、また会員以外でも興味のある方をお誘いください。多くの方の参加をお待ちしております。

参加者募集

ワン・コイン・セミナー 稲藤一のそば

お話を聞きながら打ちたてのおそばをいただきます

日時:10月21日(日)

午後2時~3時ころ

場所:ラ・フランス温泉館 交流プラザ

講師:稲藤第一農産 加工組合

参加費:500円(ざるそば、てんぷらサビ入)

申込み:紫波みらい研究所 先着15名様



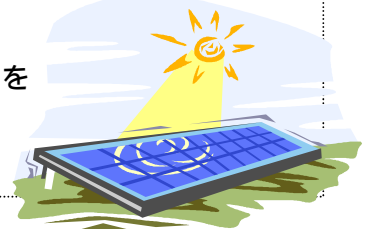
再生可能エネルギー説明員

募集中!

平成23年度、紫波町と本研究所では国の補助金と盛岡信用金庫からの融資を受け、ラ・フランス温泉館に再生可能エネルギー設備を導入しました。その設備を町内外の人たちに知ってもらうための説明員を会員から募集します。もちろん、説明にあたっては、専門家が講師を務める勉強会を開催する予定です。

再生可能エネルギーに興味のある会員は、ぜひご応募ください。

説明にあたっては、日当をお出しする予定です。



熱心に話を聞く、紫波一中の生徒さん



〔編集後記〕

事務所にはいろんな人たちがきます。先日は紫波第一中学校の1年生4人が、みらい研はどんなことをしているのか、紫波町のごみはどのように処理されているのかなどを聞き取りにきました。聞き取りした内容は、10月27日(土)に開催される文化祭で、学級新聞の記事のひとつとして掲載されるそうです。どんな新聞ができるか、興味のある会員は見に行きたいですね。